

タグカバディ 101 (鬼遊び)

1年体育科 9月 6時間 附属新潟小学校 教諭 小野 浩由

1 本単元で目指す姿

タグカバディのゲームの様相に応じたタグを取る・逃げる・守る等の自分の動きを見だし、得点を獲得することを楽しむ子ども

具体的には、相手の動きに着目し、様相と動きとを関連させて考えるという「見方・考え方」を働かせ、運動遊びの行い方を工夫するという資質・能力を発揮して「相手のタグを取ったり、逃げたりして得点するために、左の相手(守備)が離れたときに、素早く方向を変えて右の相手のタグを狙ったら取ることができました。自分のタグを取られないように、左右にジグザグに逃げたら、得点を加えることができ嬉しかった」などと自分の動きを見だし、得点することを楽しむ姿。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

体育科	「見方・考え方」		
	○相手や仲間の動きに着目し、様相と自分の動きとを関連させて考えるという「見方・考え方」		
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	☆資質・能力 ・予想される子どもの反応	評価する対象 ◎評価(B基準)
一	1	○ 赤白タグ取り鬼をする。 ○ 1人対1人でタグ取り鬼をする。	◆ 教材のルールを提示する。 ◆ 試しのゲームを行う場を設定する。 ◆ やってみて思ったことや感想を問う。	☆体育科①③ ③簡単なルールだから思いっきり動くことができるし、タグが取れるととても楽しい。 ①鬼にタッチされないように、速く走って逃げとよい。	発話、学習カード記述 ③友達と仲よくして、安全に留意しながら運動をしようとしている。 ①ルールを理解して、試しのゲームができる。
	2	○ 3人対3人のオープンナンバーのタグ取り鬼を行う。	◆ 前時のルールを振り返る。 ◆ 攻撃3人対守備3人のオープンナンバーのゲームを行う場を設定する。 ◆ 前時のタグ取り鬼と比較し、できるようになったこと、もっと良くしたいこととその理由を問う。	☆体育科①③ ③準備や後片付けをみんなで協力してやろう。 ③Aさんはタグを取るのが上手だな。足が速いからかな。 ①同じ人数だから、チームのみんなで協力してタグを取ろう。宝取り鬼のときもおとり作戦を考えたいけれど、使えそうだな。	発話、学習カード記述 ③仲間のよさに気付いたり、鬼ゾーンを突破しようとして意欲的に運動をしようとしている。 ①既習の動きを活用して、タグを取っている。
	3	○ タグカバディのルールを理解し、試しのゲームを行う。	◆ ルールを提示する。 ◆ 試しのゲームを行う場を設定する。 ◆ アウトナンバーのゲームとオープンナンバーのゲームとの違いや動きの違いを問う。 ◆ タグを取ることに難しかった理由を問う。	☆体育科①③ ③タグカバディって何だろう。おもしろそうだな。ルールを守って楽しく運動しよう。 ① 1人対3人になったら、どう動けばタグが取れるのかわからない。	発話、学習カード記述 ①タグカバディのルールを理解しゲームができる。 ①タグを取るためにどうしたらよいか考えている。
二	4	○ 2つの映像から、タグを取るための視点を引き出し、自分の動きを追究する学習課題を設定する。	◆ ゲーム中の「俯瞰映像」と「視線映像」を順に提示し、タグを取って、逃げ切った人はどのように動いているか、何を見ているのかを問う。 【働き掛け1】	☆ツール活用能力 ・ Aさんがタグを取った。とても素早く動いていた。 ・ Aさんが、右左に動いてタグを取っていた。 ・ 相手がどっちに動くか見ている。 ・ 逃げられそうな場所を見ている。 ・ きょろきょろといろいろなところを見ている。 ・ この時は相手を見ている。 ・ 相手が見ていないときにタグを取っている。 ・ 反対にいる相手が離れたときに近くの相手のタグを取ろうとしている。 ・ ゲーム中に見るところを考えた練習をしたい。 ・ 反対にいる相手が離れたときにタグを取る練習をしたいです。 ・ いろいろな走り方を工夫した練習をしたいです。 ・ どのように動くかを考えて練習したいです。 【学習問題(課題)】 みるところと、どのようにうごくかをかんがえて、もっととくてんをとるれんしゅうをしよう	
		○ 練習方法を考え、課題解決に向けた自分の動きの見直しをもつ。 ○ 考えた動きの練習をする。 ○ 練習を生かした試しのゲームをきょうだいチームで行う。	◆ 人数による練習方法のパターンを提示し、練習する場を設定する。 【働き掛け2】	☆体育科②、協働性 ②1人対1人の練習をして、腕を伸ばしたり、背中を遠くにしたりしながら素早く動く練習をする。 ②1人対2人の練習をして、鬼を見たり、鬼の動きを見たりして、どこに走るとタグが取れるか練習をしたい。その時にできているか、もっとよい動きがあるかアドバイスをもらいたい。 ②1人対3人のゲームと同じような形式で練習をする。僕は、右や左に方向を変えて走って、左の相手が離れたときに右の相手のタグを取る練習をしよう。	発話、学習カード記述 ②自分がやりたい動きと提示された人数による練習方法とを関連付け、根拠をもって人数を選択し、タグを取ったり、逃げ切ったりするための動きを考えている。
三	5	○ 練習した動きを活用するためのゲームを行い、得点を取るための自分の動きを整理する。	◆ 練習した方法でタグを取って逃げ切ることができるかゲームで試す場を設定し、得点の変化の理由を問う。 【働き掛け3】	☆体育科①③ ①右や左に方向を変えて走ったら、左の相手が僕から離れたから右の相手のタグを取ることができた。 ①速く走ったり、止まったりして速さを変えたら、タグを取ることができた。 ①右に行くふりをして、左側のタグを取った。相手の動きを見て、離れるようにして逃げたらボーナスラインまで逃げ切れた。 ③だんだんタグが取れなくなってきている。もっと別な動きを考える必要があるな。 ③相手も守備が強くなっているから、タグを取ったり、ボーナスラインまで逃げ切ったりすることができなくなった。もっと違う動きの練習を考えたい。	発話、映像、学習カード記述 ①ゲーム中に考えた動きができる。またはやろうとしている。 ①考えた動きができたかどうか振り返っている。 ③もっと別な動きを考えたい、やってみたくて次時への意欲をもっている。
	6	○ 得点できた場面と自分の動きをつなげ、考えた練習方法に価値付けをする。	◆ タグを取って逃げ切った時の状況とその時の自分の動きを問う。 【働き掛け4】	☆体育科①② ①②相手と相手との間が離れていたのに、このくらい離れていたら左の人のタグが取れそう思ってタグを取った。相手の動きを見て、離れるようにボーナスラインまで走ったら逃げ切ることができて2点取れた。	発話、ノート記述 ①②得点できた場面と得点できなかった場面を想起し、得点できた理由を考えること
		○ 自分の動きをまとめ、課題解決において発揮した資質・能力を自覚する。	◆ ゲーム中にできた動きを振り返る時間を設定し、動きの変化と理由を問う。 【働き掛け5】	相手の動きを見てどう動けばよいか考えて練習をしたら、タグを取って、逃げ切ることができました。相手が離れているときにタグを取りに行ったり、だまして相手と離れたところを作ったりすることが大切だと分かりました	

